



寶性

令和四年 第一号 お正月発行



住職 画

令和四年の新春を迎え、謹んで至心に篤い三宝を誦し、併せて檀信徒各位のご平安を祈念申し上げます。
特に本年こそ新型コロナウイルスの終息を御本尊阿弥陀如来様に改めて御祈願致します。



御題「窓」

住職	松野 大英
副住職	松野 大樹
筆頭総代	遠山 長昭
法類	総代一同
寺族	大谷 忍昌
	松野 弘美

修正会

一年の健康と幸せをお守りする修正会ですが、コロナウイルス感染防止のため、念を入れて中止とさせて頂いております。もちろん「心願成就」「家内安全」「無病息災」のご先祖供養「精霊菩提」等々のご祈願は、住職・副住職で「修正会法要」でお勤め致します。

お札・絵馬・御守・交通安全ステッカー・「浄土宗宝暦」は、ご用意しておりますので、ご一報下さい。



絵馬

土鈴

御札

御守

交通安全ステッカー

「虎と竹」

以前にもご紹介致しましたが、法隆寺の玉虫厨子に刻まれています「捨身飼虎図」というのがあります。この「捨身飼虎図」は、「金光明最勝王経」の中に語られ、日本では、聖武天皇が国分寺に設置した護国三部経の一つです。

この物語は、

その昔、三人の王子がおりました。ある時、三人の王子は、森林深く進んで、七匹の子を持つ虎に出会いました。その虎は飢えてやつれていました。

これを見た第一の王子が言いました。「食べ物が無く、いづれ、可哀想だが、親は子供を食べてしまうでしょう」と、しかし、何もしてやれません。

第二の王子は、食べ物を与えようとはしますが食べる力もありません。ましては虎の子も食べようとはしません。第三の王子は言いました。「私の身を捨てるときがきました。肉体は無常であり、朽ち果てるもの。この身を捨てることにより、寂滅無常の涅槃を求めます。」と。そして、衣服を脱ぎ、虎の前に横たわりましたが、虎は何

もしません。虎は、王子を食べる力も残っていないからです。そこで、第三の王子は、崖の上に登り、竹で首を刺し、血を流して飛び降り虎の前に身を投げ出しました。その時、大地は震動し、天より華の雨が降り注ぎました。

この様子を表したのが、法隆寺の玉虫厨子の「捨身飼虎図」です。その第三の王子こそ、お釈迦様の前世の姿であったと説かれています。

「松に鶴」「梅に鶯」いろいろと鳥獣と植物と取り合わせがありますが「虎と竹」はこの物語から構図が描かれるようになったといわれています。



捨身飼虎図

嵯峨面

浄土宗特別寺院・京都・清涼寺に伝わる、嵯峨狂言に使われた面を復刻した民芸品です。
古い和紙を使い、趣のある面です。
客間の壁に飾ってあります。



伏見焼

京都伏見稻荷に伝わる焼物です。
現在ただ一軒のみ残る土物の人形です。
客間の床の間に飾ってあります。
「嵯峨面」ともぜひご覧ください。



感謝録

皆様からご奉納いただいたいております「御仏具料」とは御法要時の「御布施」とは異なります。皆様からの「御布施」は、公表いたしておりません。「御布施」とは異なりますので何卒ご理解ください。

本年度は、地震による本堂内壁修復、扉の破損の修復、また、本堂外壁・山門の塗装、さらに本堂内全ての障子張り替えの一部に使わせていただきました。年明けには綺麗になっております。



秋季彼岸会報告

令和三年秋季彼岸会法要がお中日に開催されました。まだまだコロナウイルス感染防止にともない、形を変えて、まず、住職からお話させていただき、ご一緒に途中でまでお経をお唱えし、お塔婆をお持ちいただき、お墓参りをしていただきました。当日は、コロナ禍にもかかわらず、大勢様のご参加いただきました。

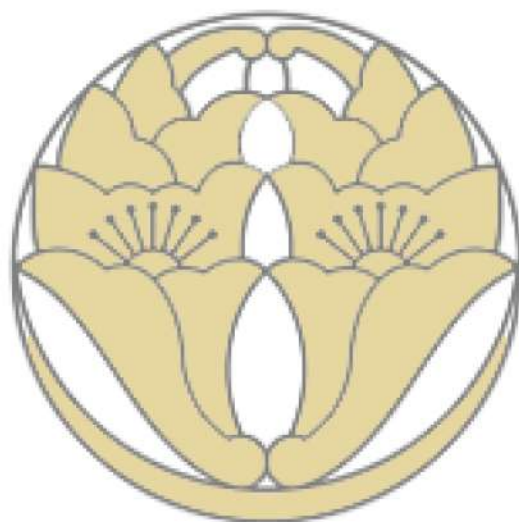


年間行事予定

令和四年度

- | | |
|--------------|--------------------|
| 一月 三日 (月) | 修正会 |
| 二月 十五日 (火) | 涅槃会 |
| 三月二十一日 (月・祝) | 春季彼岸会回向 |
| 四月 八日 (金) | 花まつり |
| 五月二十八日 (土) | 施餓鬼会 |
| 七月 二日 (土) | 七夕・蓮見の会 (茶室にて抹茶拝服) |
| 七月 十日 (日) | 迎え盆・七月盂蘭盆会回向 |
| 七月 十六日 (土) | 送り盆 |
| 八月 十三日 (土) | 迎え盆・八月盂蘭盆会回向 |
| 八月 十六日 (火) | 送り盆 |
| 九月二十三日 (金・祝) | 秋季彼岸会回向 |
| 十一月 吉日 | 實性寺寄席 |





浄土宗宗紋 月影杏葉紋

鴨下一郎先生のご勇退

実性寺総代でもあられます、衆議院議員・鴨下一郎先生は、二十八年間九期の長きにわたり、国家万民の為に奉職なされました。私共をお導き、御支援賜りました。誠にありがとうございました。先生は、私共の誉れでございます。



暁月会（あかつきかい）

実性寺ゴルフの親睦会（会長・実性寺総代井口勝彦氏）は、コロナウイルス感染防止のため、二年間休止しておりましたが、十二月に会食等無しで競技致しました。



AKATSUKIKAI

梅



白木蓮

境内の花 *Flowers in the precincts*



どうだんつじ



黒臘梅

●ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替 口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

